



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 日本曹達株式会社  
 コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杵渕 裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 丸本 柳太

TEL 03-3245-6053

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	86,858	1.8	1,546	△41.7	4,626	△20.1	3,468	△18.8
24年3月期第3四半期	85,289	△1.1	2,653	13.8	5,792	△3.0	4,271	5.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,212百万円 (95.4%) 24年3月期第3四半期 2,156百万円 (34.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	22.80	—
24年3月期第3四半期	28.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	182,515		94,888		48.9	
24年3月期	179,230		91,671		48.1	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 89,229百万円 24年3月期 86,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	4.9	3,700	△21.4	7,800	△16.7	6,000	△14.8	39.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	154,317,630 株	24年3月期	154,317,630 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	2,210,688 株	24年3月期	2,207,392 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	152,108,521 株	24年3月期3Q	152,112,868 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、生産活動に持ち直しの動きがみられたものの、欧州の政府債務危機等の影響による世界経済の減速や、対外経済環境を巡る不確実性等により、依然として不透明な状況にありました。

化学業界におきましては、国内需要の低迷や、海外景気の減速による輸出の伸び悩みにより、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、製品価格の改定をはじめ積極的な営業活動を推進いたしましたが、景気の低迷に伴う化学品事業や建設事業における需要の減少により、当連結累計期間の売上高は868億5千8百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は15億4千6百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

また、経常利益は、持分法による投資利益を計上したこと等により46億2千6百万円（前年同期比20.1%減）、四半期純利益は34億6千8百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、組織改正の実施に伴い、報告セグメントの所属区分を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報」をご確認ください。

#### [化学品事業]

炭酸カリ、オキシ塩化リン及び硫黄誘導体等が減少したものの、Alkaline SAS及びそのグループ会社4社を連結の範囲に含めたこと等により、当累計期間の化学品事業の売上高は261億3千1百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

#### [農業化学品事業]

殺虫剤「モスピラン」が減少したものの、殺菌剤「ベフラン」や、殺菌剤「パンチョ」の輸出向け等の伸長により、当累計期間の農業化学品事業の売上高は225億9千5百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

#### [商社事業]

飼料添加物やウレタン原料等が堅調に推移したものの、各種有機薬品や機械・装置等の減少により、当累計期間の商社事業の売上高は240億8千8百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

#### [運輸倉庫事業]

運送業が堅調に推移したものの、一時的な貨物の減少等により倉庫業・作業が減収となり、当累計期間の運輸倉庫事業の売上高は28億4千7百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

#### [建設事業]

土木工事が伸張したものの、プラント建設工事の減少により、当累計期間の建設事業の売上高は68億9千7百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

#### [その他]

当累計期間のその他事業の売上高は42億9千7百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ32億8千5百万円増加し、1,825億1千5百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ6千9百万円増加し、876億2千7百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ32億1千6百万円増加し、948億8千8百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は48.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、前回（平成24年5月11日）発表予想を以下の通りに修正いたしております。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	135,000	5,200	7,800	5,700	37	47
今回修正予想（B）	127,000	3,700	7,800	6,000	39	45
増減額（B－A）	△8,000	△1,500	－	300	－	－
増減率（％）	△5.9	△28.8	－	5.3	－	－
（ご参考）前期実績 （平成24年3月期）	121,118	4,706	9,365	7,044	46	31

<修正の理由>

平成25年3月期の通期連結業績につきましては、世界経済の低迷や国内の需要回復の遅れ等により、化学品事業等において減収となる見通しであることから、売上高及び営業利益は前回（平成24年5月11日）発表を下回るものの、持分法適用会社の業績が堅調に推移していること等により、当期純利益は前回発表を上回る見込みであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

【追加情報】

（役員退職慰労引当金）

当社及び国内連結子会社は、平成24年6月開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度を廃止し、取締役及び監査役に対する退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は各取締役及び監査役の退任時とすることを決議しました。

これに伴い、当該株主総会までの期間に対応する役員退職慰労引当金相当額403百万円は、固定負債の「その他」に含めて表示しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,844	11,028
受取手形及び売掛金	40,333	34,534
たな卸資産	22,737	27,936
繰延税金資産	1,669	1,786
その他	2,402	4,054
貸倒引当金	△67	△58
流動資産合計	81,919	79,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,048	15,610
機械装置及び運搬具（純額）	13,334	13,245
工具、器具及び備品（純額）	1,723	1,647
土地	14,834	15,311
リース資産（純額）	542	481
建設仮勘定	1,602	4,942
有形固定資産合計	48,084	51,237
無形固定資産		
のれん	2,677	2,427
その他	1,538	1,598
無形固定資産合計	4,216	4,026
投資その他の資産		
投資有価証券	34,706	36,175
前払年金費用	5,280	6,545
繰延税金資産	2,929	3,043
その他	2,161	2,273
貸倒引当金	△66	△68
投資その他の資産合計	45,010	47,969
固定資産合計	97,311	103,233
資産合計	179,230	182,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,753	22,274
短期借入金	35,024	31,816
未払法人税等	354	84
賞与引当金	2,777	891
その他	7,795	8,080
流動負債合計	65,704	63,147
固定負債		
長期借入金	12,827	15,578
繰延税金負債	1,627	2,144
退職給付引当金	2,776	2,573
その他	4,623	4,183
固定負債合計	21,854	24,480
負債合計	87,558	87,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	26,094	26,094
利益剰余金	34,862	37,418
自己株式	△593	△594
株主資本合計	89,530	92,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	851	850
繰延ヘッジ損益	△46	△176
為替換算調整勘定	△4,000	△3,316
年金債務調整額	△201	△212
その他の包括利益累計額合計	△3,396	△2,854
少数株主持分	5,538	5,658
純資産合計	91,671	94,888
負債純資産合計	179,230	182,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	85,289	86,858
売上原価	65,327	66,718
売上総利益	19,961	20,139
販売費及び一般管理費	17,308	18,592
営業利益	2,653	1,546
営業外収益		
受取利息	17	34
受取配当金	336	320
持分法による投資利益	3,626	2,799
その他	810	1,109
営業外収益合計	4,791	4,263
営業外費用		
支払利息	457	458
為替差損	588	—
その他	605	725
営業外費用合計	1,651	1,183
経常利益	5,792	4,626
特別利益		
固定資産売却益	42	9
その他	2	—
特別利益合計	44	9
特別損失		
固定資産廃棄損	87	112
関係会社株式評価損	—	50
その他	39	34
特別損失合計	126	197
税金等調整前四半期純利益	5,710	4,438
法人税、住民税及び事業税	691	537
法人税等調整額	592	329
法人税等合計	1,283	867
少数株主損益調整前四半期純利益	4,427	3,570
少数株主利益	156	102
四半期純利益	4,271	3,468



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,427	3,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△572	2
繰延ヘッジ損益	23	△60
為替換算調整勘定	△253	316
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,468	383
その他の包括利益合計	△2,271	641
四半期包括利益	2,156	4,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,070	4,009
少数株主に係る四半期包括利益	85	202

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,118	21,499	24,766	2,971	8,292	80,647	4,642	85,289	—	85,289
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,120	35	3,909	1,069	2,667	17,802	2,368	20,170	△20,170	—
計	33,239	21,534	28,675	4,040	10,959	98,449	7,010	105,460	△20,170	85,289
セグメント利益 又は損失 (△)	1,018	△162	150	405	810	2,222	103	2,325	327	2,653

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	化学品 事業	農業 化学品 事業	商社 事業	運輸倉庫 事業	建設 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	26,131	22,595	24,088	2,847	6,897	82,560	4,297	86,858	—	86,858
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	10,242	28	3,270	1,131	2,341	17,013	2,029	19,043	△19,043	—
計	36,373	22,623	27,359	3,979	9,238	99,574	6,327	105,901	△19,043	86,858
セグメント利益 又は損失 (△)	494	△291	86	316	541	1,147	100	1,247	298	1,546

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、非鉄金属事業及び環境開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「農業化学品事業」の区分に属していた工業用殺菌剤は、組織改正の実施に伴い、所属する区分を「化学品事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを表示しております。

変更後の各報告セグメントに属する主要製品は以下のとおりであります。

事業区分		主要製品等	
報告セグメント	化学品事業	工業薬品	カセイソーダ、液化塩素、塩酸、カセイカリ、炭酸カリ、青化ソーダ、青化カリ、塩化アルミ、オキシ塩化リン、三塩化リン
		化成品	金属ソーダ、特殊イソシアネート、アルコラート、有機チタン、ラクテット、各種硫黄誘導体
		染料製品	顔色剤、PSD
		機能材料	NISSO-PB、VPポリマー、透明導電ガラス、チタボンド、ピストレイター
		エコケア製品	日曹ハイクロン、日曹メルサン、テイクワン、ハイジオン、ヌメリ取り剤
		医薬品・医薬中間体	HPC、DAMN、ファロペネムナトリウム、AOSA
		工業用殺菌剤	ベストサイド、バイオカット、ミルカット
	農業化学品事業	殺菌剤	トップジンM、ベフラン、ベルコート、トリフミン、パンチョTF、アグロケア、ストロビー
		殺虫・殺ダニ剤	モスピラン、ニッソラン、ロムダン、コテツ、フェニックス、ピラニカ
		除草剤	ナブ、ホーネスト、クレトジム、ピリプチカルブ、コンクルード
		その他	くん煙剤
	商社事業	化学品、機能薬品、合成樹脂、産業機器・装置、建設関連製品	
	運輸倉庫事業	倉庫・運送業務	
建設事業	プラント建設、土木建築		